

NOMA 階層別マネジメント研修 モデルプログラム例)

研修モデル プログラム名	社会人基礎力 CAMP モデルプログラム ～社会人基礎力自己診断 ST I を活用！～	
研修のねらい (到達目標)	「社会人基礎力」とは、経済産業省よって「職場や地域社会の中で多様な人々とともに仕事を行っていく上で必要な基礎的な能力」(「社会人基礎力」)として定義された3つの能力、12の要素です。 「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力とそれらを構成する12の要素の重要性を気づかせ「自己診断」で自己の強み弱みを知ることによって今後の自己啓発ポイントやキャリア形成に役立てます。	
研修期間	標準：2日	
有効対象	若手社員～中堅社員	
研修ポイント	<p>【社会人基礎力自己診断の活用】 新人・若手社員の育成過程において“共通”で“一環”した指標として「社会人基礎力の3つの能力・12の能力要素」を活用し、「自らが気づき、伸びる意欲を引き出す」研修プログラムです。</p> <p>自己診断から明らかになった自己認識と他者からのフィードバックによって、「はたして自分の強みと考えていた点は本当に強みか?」「はたして自分の弱みと考えていた点は本当に弱みか?」をより深く考え、研修後に必要となる能力開発目標を明確にすることが可能になります。</p> <p>入社時、数カ月後のフォローアップ時、さらには1年後や3年後といった時点において、自分自身の成長を“共通”で“一環”した指標から気づき、実感することが出来ます。</p>	
モデルプログラム事例		
	1 日 目	2 日 目
導入講義とアイスブレイク 社会人基礎力の目的と意識 1. 社会人基礎力 自己診断 NOMA - ST I の実施 2. 自立した社会人とは? 3. 考え抜く力 (シンキング) 《課題発見力》《計画力》《創造力》 4. チームで働く力 《柔軟性》《状況把握力》《発信力》《傾聴力》《規律性》 《ストレスコントロール力》 5. 《発信力》と《傾聴力》 6. 《規律性》と《ストレスコントロール力》		《ストレスコントロール力》続き 7. 前に踏み出す力 《主体性》《働きかけ力》《実行力》 8. 改めて問う! 3つの力は何故必要なのか? 3つの能力、12の要素 9. コンセンサス実習 10. 自己成長のアクションプラン策定・発表

上記はあくまでモデルプログラムです。

実施の内容は可能な内容であれば、ご要望に応じてカスタマイズができます。

お気軽にご相談ください。

お問い合わせ先

一般社団法人日本経営協会 東京本部

経営開発グループ

TEL 03-3403-1716

FAX 03-3403-8417

E-Mail tiso@noma.or.jp